

首相「厚労相を呼んで」連発し反論

安倍晋三首相は4日の衆院予算委員会の集中審議で、民進党議員から社会保障問題をめぐる質問を受けた際、「厚労相を呼んで」「厚労相が答弁するのが当然」と連発。民進党から塩崎恭久厚生労働相の出席要求がなかったことに色をなして反発した。

民進党の初鹿明博氏が介護保険制度の見直し問題を取り上げると、首相は「担当大臣がいるのだから、担当大臣をしつかりと呼んで深く議論するのがあるべき姿ではないか」と反発。初鹿氏は「この見直しのきっかけは経済財

社会保障問題の質問に

政諮問会議の骨太の方針で、発信元は官邸サイド。だから首相に聞いている」と反論した。

同党の井坂信彦氏が賃金の下落に合わせ年金額を下げる新しい仕組みを問いたすと、首相は「厚労相を呼んでこの場で答えさせるべきではないか。私は厚労相に任せているのだから、厚労相に聞いていただきたい」と強調し、「『厚労相を呼ぶな』と（民進党の）国対（国会対策委員会）が言ってきたのか」などと批判した。